

来年度の活動について

今年度も残すところ僅かとなりました。



地域交流会の開催

各事業所の職員への 激励の言葉

認知症があり一人暮らしの高齢者を地域で支援していくことの難しさ

今年度は中川区と港区で地域交流会を行いましたが、来年度も年に2回の地域交流会を開催しようと思ふ満々です！

港区で開催予定の地域交流会は災害についてもっと深めたいというアイディアが出来ました。炊き出しや避難生活の実体験を行つた際は皆さんのが災害への関心が高まるのではないかと思います。

中川区で開催予定の地域交流会は前回の地域交流会で協力いたしましたハピリ職員の皆さんが新たな企画を考え中との事。前回はスケジュールがタイトだったので次回はゆったりとした交流会を目指したいと考えています。

お宮サロモンの活動について

地域の方が集まつて回らんの時を通してお宮サロモンへの参加は今後も続けていきます。健康に関すること、生活や介護に必要な情報などを看護師やケアマネが中心となってお話をしています。地域の方々にも参加していただきさらには盛り上げていきたいと思います。

お宮サロンの活動について

今年度は中川区と港区で地域交流会を行いましたが、来年度も年に2回の地域交流会を開催しようと思ふ満々です！

港区で開催予定の地域交流会は災害についてもっと深めたいというアイディアが出来ました。炊き出しや避難生活の実体験を行つた際は皆さんのが災害への関心が高まるのではないかと思います。

中川区で開催予定の地域交流会は前回の地域交流会で協力いたしましたハピリ職員の皆さんが新たな企画を考え中との事。前回はスケジュールがタイトだったので次回はゆったりとした交流会を目指したいと考えています。

委員会参加者について

委員会参加者について
これまででは委員会のメンバーを中心として開催していたMSWですが、今後は周囲の医療機関のMSWの方々にも声をかけ委員会に参加してもらいたいと思います。

緑区の勉強会について

たくさんの方に委員会活動についてPRして頂きたいと思ってます。今後も通信の発行や勉強会、地域交流会などを通して皆様への広報活動を行っていき少しでも活動に賛同していただけよう努めていきたいと思い、

OJT研修について

法人内でお互いの部署の良いところを学ぶためにOJT研修を実施したいと思います。法人内の施設同士の交流ができる良い刺激となるのではないかと前向きな意見がありました。

緑区の勉強会について

今年度まつかけシニアホスピタルのMSWの方々を招いて実施したアルゴール依存症や精神疾患の支援についての勉強会を緑区も実施したいとの意見が出来ました。

各事業所の職員への 激励の言葉

たくさんの方にPREFESTについて
知つて頂きたいと思ってます。今後
も通信の発行や勉強会、地域交流会な
どを通して皆様への広報活動を行つて
いき少しでも活動に賛同していただけ
るよう努めていきたいと思い。

認知症があり一人暮らしの高齢者を地域で支援していくことの難しさ

今回の事例提供者は居宅介護支援事業所太陽の館本さんです。以前にも「暮らしの高齢者が今後も在宅で生きるよう心配暮らしだけでなく、地域で支えていくことを」行なったケースです。認知症が進んで一人暮らせを続けるAさんは、病院で治療を受けるために、また医療費を支払う方法でよい（病院側が解説）Q・退院時に支払う方法でよい（病院側が解答）Q・在院中の本人の状態は？ A・本人は特に不安感はござらない様子。帰宅意望もしてこない（病院側が解答）Q・市町村申し立てを行い、後見人がつくるのはどのくらいかかるのか？ A・早くして4ヶ月になると思われる（病院側が解答）Q・病院にはいつまで入院することができるのか？ A・本来は2月中までの入院を予定しているが難しい場合は延長も検討する事ができると思われる（病院側が解答）

者があがるようになります。Aさんに対する支援を拒否してしまいました。地域の関係者が集まり、「後見について話し合いを行ひ、市町村申し立てをして、庭年後見人を付けること」が決まりました。そんな中Aさんは体調不良により入院してしまいました。

そこで今回、「成年後見人が決まるまでどう支援していくべきかについて話し合いました。

【一問一答】

Q・金銭的にはあるのか？

A・銀行には生活できるだけのお金はある。また定期預金もある。

Q・だれがお金をおろすのか？

A・本人は特に不安感はござらない様子。帰宅意望もしてこない（病院側が解答）

Q・在院中の本人の状態は？

A・本人は特に不安感はござらない様子。帰宅意望もしてこない（病院側が解答）

Q・市町村申し立てを行い、後見人がつくるのはどのくらいかかるのか？

A・早くして4ヶ月になると思われる（病院側が解答）

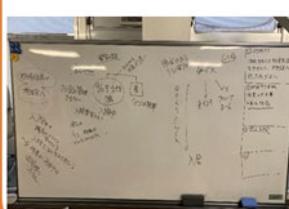
Q・病院にはいつまで入院することができるのか？

A・本来は2月中までの入院を予定しているが難しい場合は延長も検討する事ができると思われる（病院側が解答）

参加者からは、「本人の状態が落ち着いているなら、何とか市町村を自由にしたい」と、次の施設へ移行した方が、本人の負担が少ないのではないか」という意見や、「病院の好意に甘ええる事なく、少しでも早く成年後見人がつづり、市役所や民間機関に働きかける必要がある」という意見がでました。

今回の事例を検討する中では、認知症高齢者の増加に伴い、今後どのような取り組みが必要か、といふ議論が見えてきました。認知症がある一人暮らせのAさんが地域で安心して暮らすにはどうしたらよいか、地域で支えていくこと

高齢検討時のホワイトマーク



次回の予定		
日付	行事	場所
2月21日 13時半	次年度について	東洋病院